

社会福祉だより

志あわせ

2024年1月
(令和6年)

173号

ミニデイに行こうでい



皆が気楽に集まれるようにとミニデイを始めて9年目。

月に一回集まり、1日楽しく交流しています。この日は、ミニデイが結成された年に取材した懐かしい写真を大画面で見たり、智頭町の昔の写真を見たりと思い出話に花を咲かせました。



お昼は、栄養満点の手作り料理。今回のメインは「大山おこわ」です。持ち寄りの野菜や果物を使い、気持ちがこもった美味しい料理がたくさん並びます。



「次回の日程や何をするかなどすべて相談して決め、誰にでも分かるように波多学習塾の掲示板に記載すること」「男性は机の準備、女性は料理とお互いが支え合っていること」が、波多お楽しみ会の長く続く秘訣です。これからも協力して通いの場を続けていきます。

波多お楽しみ会（波多学習塾、月1回） 2015年（平成27年）登録、会員数18名

2023年度智頭町社協の取り組み

「智頭町社協の役割」

つながりを保ち続けるために

(対話者)

所長

高田昌史之

介護士長

加藤 喜識

生活相談員

壽村 泉

介護支援専門員

谷内 ゆか

介護事業課課長

有田 千鶴

総務課課長

山田 直生



今年度の広報誌「志あわせ」では、智頭町社協に何ができるのか、何をすべきなのかを『智頭町社協の役割』と題して、連載してきました。今回、最後の連載は、智頭心と苑の職員との対談となります。

●高田

早速ですが、智頭心と苑の職員として地域との“つながり”をどう感じて、どう考えているのか教えてください。

なじみの関係づくり

●加藤

私は、山間部に特養がある意味の大きさを日々、感じています。特養が町内にあることで、お一人での生活が難しくなっても、最期まで住み慣れた町内で生活できることにつながっていると思っています。ご利用者や職員には町内在住者が多いですし、ご利用者や職員という関係性ではなく、昔からの顔なじみという方々がいます。

顔なじみがいるからこそ安心できる環境につながっているのかなあと思います。

●谷内

最近では、新型コロナウイルス感染症予防で制限していた面会や施設



への出入りを緩和しています。これからは、故郷へのドライブを企画して、ご家族やご近所の方とお会いする機会をつくりたいと思っています。ご利用者は、ご家族やご近所の方とお会いした時、表情が和らいだり、普段よりもお話をしたり、安心されたような様子が見られることがあるので、そういった時に嬉しく思います。

●壽村

智頭心と苑では、病院や関係機関、ボランティアや学校などとのつながりも大切にしています。最近では、地域に関心のある学生も増えてきたように思います。学生の中には祖父母と生活していない学生も多くなっています。ボランティア活動などが高齢者とのつながりがもてる良い機会になればと思っています。

●高田

なじみの関係をつづける、つ

くっていくことで安心につながっていますよね。智頭心と苑は歴史も長いことで、住民の皆さんや関係機関の協力が得やすい環境があり、なじみの関係づくりにとても助かっている部分があります。

●有田

これからの智頭心と苑と地域とのつながりについて、それぞれの思いを聞かせてください。

施設外に出かけていく

●加藤

世間では介護は大変だと思われる方や、実際に介護で身体をこわされる方もいます。そうではなくて、実は、介護は楽しく、もっと楽にできるやり方があることを知ってもらいたいと思っています。智頭心と苑には介護職、看護職、栄養士、機能訓練指導員などの色々な専門職が在籍しています。介護の課題に適した専門職が施設外に出て、相談会や介護講習会という形で介護の知識を広める活動を行うことができれば、介護で大変な思いをされている方の手助けになるはずです。また、智頭心と苑の職



員となじみの関係になれば、いずれ、施設入所に至っても安心していただけるのではないかと思っています。

意向通りの生活を

つづけるために

●谷内

施設に入所されるご利用者の中には入所が決まった時点で、ご本人から意向を聞き取ることが難しい状態の方もおられます。ご本人の意向がはっきりしている時からどんな生活がしたいのか話し合うことで、最期まで自分らしい生活ができることにつながります。そういった話し合いが必要なことを広めていきたいです。そして、話し合ったことを何か書き留めるモノがあれば、関係者でご本人の意向を共有できるのではないかと思います。

●壽村

施設入所される方の世代が変わってきています。世代によって生活様式も違いますし、聞かれる音楽や遊び方も違います。世代が変わることでこれまでのやり方が通用しなくなります。ご利用者の意向をしっかり聞き取り、第2の家ができたと思っていただける支

援を目指したいです。

●山田

ミニデイやサロンなどに出向

いて、智頭心和苑職員の技術や思いを地域住民の方々に広めていく機会をつくっていきましよう。

●高田

これからの智頭心和苑は、ご利用者が安心できる支援を継続するとともに、施設の中で得られた経験や知識を地域に広めていく活動に取り組んでいきましよう。また、ご本人の生活面の意向を把握できるノートがあれば、ご本人が望む生活がつづけられることはもちろんのこと、介護に関わる人にとって大きな意味をもたらすモノになるはずですので、その作成にも取り組んでいきましよう。



皆さん、「智頭町社協の役割」シリーズで、智頭町社協の取り組みや職員の思いが伝わったでしょうか。

これからも、「安心して暮らし続けることができる仕組みづくり」に取り組んでいきます。皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



あんしん相談センター

「ささえーる」が暮らしの安心をお手伝いします。

■ご利用できる方は

- ・お一人暮らしの高齢の方
- ・精神障害のある方
- ・知的障害のある方
- ・認知症状のある方
- ・その他、日常生活に不安を抱えている方

■ご相談ください

ご本人、ご家族のほか、上記のような方を

心配に思っている地域の皆さん

からのご相談もお待ちしております。

生活費が
うまく
使えない

家族や他人
にお金を
勝手に使わ
れてしまう

病気になっ
てしまって
働けない

仕事が
長続き
しない

近所の人
と交流が
ない

通帳やお金の
置き場所を
忘れてしまう

借金があつて
生活が苦しい

役場から届く
書類の内容が
わからない

人間関係が
うまく
いかない



日常生活自立支援
事業



成年後見（法人後見）
事業



生活困窮者等
家計相談支援事業

あんしん相談センターささえーる
お問合せ：電話 75-3772



2023年度表彰者紹介

多年にわたり、智頭町をはじめとする各地で福祉の推進に尽力された方々をご紹介します。
(敬称略)

智頭町社会福祉協議会 会長表彰

◎民生委員・児童委員功労者

(4名)

山中とも江

天野 信昭

國本 道哉

藤森 涼子

◎地区社会福祉協議会功労者

(1名)

加藤 俊策

◎社会福祉功労者

(7名)

築澤 礼子

山中 憲枝

米原 泰子

田中 寿江

坂口かずえ

白間 美里

谷口ふみ子

◎福祉団体・福祉施設功労者

(11名)

長石 幸子

岸本 邦子

手皮 寿子

大森 剛

村上千代子

大坪 裕子

大家 時江

原田 佳林

小坂 光生

小林 泉

谷口 堅一

◎感謝状

(1名)

奥井 悟

智頭町老人クラブ連合会 会長表彰

(3名)

岡田 一

川本 善造

谷口 晴昭

全国社会福祉協議会 会長表彰

(1名)

谷口 美久

鳥取県知事表彰

◎団体職員・施設職員功労者

(1名)

葉狩真由美

鳥取県社会福祉協議会 会長表彰

◎社会福祉施設・団体役員功労者

(4名)

國岡 俊一

小林 一晴

久本 孝子

谷村 泰照

◎社会福祉施設・団体職員功労者

(1名)

寺坂真由美

◎ボランティア功労 個人

(6名)

大呂 弘子

大坪優美子

徳永英太郎

西尾 功枝

坂本千加枝

植木 澄子

鳥取県共同募金会長表彰

◎感謝・個人 (1名)

小林 一晴

第4弾

きょうちゃん が行く!!

～ほのぼのフェスタ編～



僕たちも
ハロウィン衣装で
お出迎え♪



10月21日土曜日。4年ぶりの開催となった、第13回ほのぼのフェスタに行ってきたよ。
約250の方が来場され、講演会や体操、抽選会など福祉のイベントを満喫しました。

新ひまわりシステム(ひまわり便)の紹介

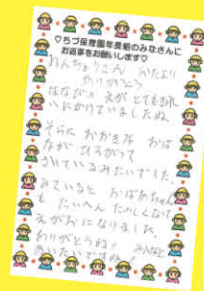
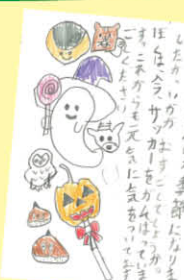
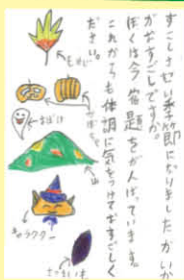
ひまわり便は、ひとり暮らしの高齢の方へ毎月1回、安否確認を目的に、郵便局員さんが配達するしくみです。お便りは、住民の皆さまや保育園・小・中学校、高校生に協力をいただいて作成しています。

園児・児童・生徒が、おじいちゃんおばあちゃんに宛て一生懸命作成した作品を紹介します。

ちづ保育園年長組

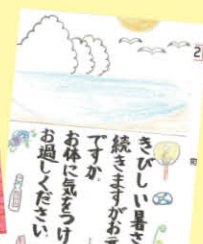


小学校4年生

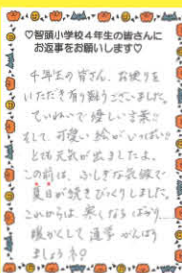
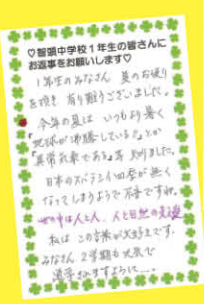
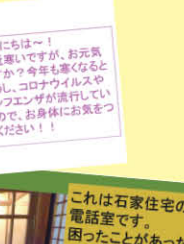
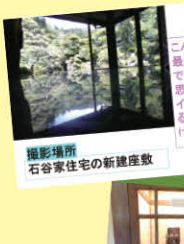


返信の
おたより

中学校1年生



智頭農林1年生



勝手に表彰!

第36号



くに もと し ず こ

國本 静子 さん (智頭・90歳)



大正琴や民謡踊りの活動を通して、地域のイベントに幅広く出演し、活躍されている國本さんをご紹介します。

大正琴や民謡踊りとの出会いは、50代を超えてから。踊りは友人のお誘いを受けて習い始めたのがきっかけです。`習ったことはで

きるまでやる、という精神を大切に日々努力され「生涯、勉強です」と國本さん。2012(平成24)年からふれあいサロンで、指導者兼会員として活動しています。

また、ボランティアとして智頭デイサービスセンターやひまわり会で披露することも。みなさんにどうしたら喜んでもらえるか、考えながらチーム一丸となって一生懸命練習に取り組んでいます。

褒めること、会員の声を聴く姿勢を大切に「楽しい稽古」を続けています。

人望が厚く、人に寄り添う國本さんを勝手ながら表彰します。



社協広報誌「志あわせ」 掲示板

このコーナーから仲間づくりを発信しています。皆さまからの投稿をお待ちしています。



お待ちしております!

募集中

【掲載内容】

- ①智頭町在住の皆さんによる仲間づくり
- ②150文字程度
- ③写真1枚程度

お問合せ：総務課 電話75-2326

☆ご感想ありがとうございます。

(山郷 50代女性)

避難訓練に参加してきました。参加してくださった社協の方々もありがとうございました。地域の皆さんと確認しあい協力しながらとてもよい体験ができました。災害はない方がいいのですが、緊急時を意識して学んでいくことが大切なのだと思う1日でした。

読者の
ひろば



「志あわせ」のご意見・
ご感想をお寄せください
抽選で2名様にプレゼントを
進呈します。



①応募方法
ハガキまたは応募用紙等に住所・氏名・電話番号・年齢を明記のうえ、ご意見・ご感想をご応募ください。

②応募先
〒689-1402
智頭町智頭1875番地
智頭町社会福祉協議会 総務課
電話：75-12326
FAX：75-10025
メール：chizu0804@ade.nara.or.jp

③締め切り
2024年1月31日(水)

※当日消印有効

令和5年災害義援金のご報告

みなさまからの義援金ありがとうございました。
2023年10月31日現在

1. 令和5年6・7月大雨災害義援金として
ほのぼの募金箱 2,733円
2. 令和5年5月能登地方地震災害義援金として
ほのぼの募金箱 2,581円
3. 令和5年台風2号災害義援金として
ほのぼの募金箱 2,580円
4. 山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金として
一般財団法人 山郷地区振興協議会 100,000円



お問合せ：
智頭町社会福祉協議会内
智頭町共同募金委員会
TEL：75-2326
担当：藤内・矢部

ご寄付ありがとうございました

(2023年9月～2023年11月まで)

*一金100,000円 小林 豊作 様

*古布・タオル・裁断布・古新聞 等

徳永 照子 様 大平 朝則 様

安住 正江 様 安東由美子 様

藤原 和子 様 梶川 和子 様

田中 弘子 様 梶川みづほ 様

赤十字奉仕団 様 匿名多数

*アルコール消毒(携帯用)150本 匿名

*ぱれっと三田・自立の家・あおぞら(グループホーム)

配食サービス・ひまわり会の各種食材

各地区給食ボランティア 様

コスモス会 様 匿名多数

智頭町共同募金委員会からの お知らせ

2025年度助成事業に対して共同募金助成先を募集します。

【助成の交付対象団体等】

- (1) 社会福祉法人智頭町社会福祉協議会
- (2) 町内で活動するボランティア団体
- (3) 保育園、小学校、中学校、高等学校
- (4) 就労継続支援事業所
- (5) 福祉団体等、その他に智頭町共同募金委員会が必要と認めた団体

【財源】2024年度募金

【事業実施期間】

2025年4月1日～2026年3月31日

【申請方法】

【申請期間】

2024年4月1日～2024年5月末日

【選考方法】智頭町共同募金委員会及び鳥取県共同募金会にて選考。採否は2024年8月中旬に通知。

【助成期日】2025年5月中旬(改めて通知します)

【助成額】各助成事業により交付金額上限を定めております。詳しくは下記事務局へお問合せください。



赤い羽根共同募金は
地域福祉活動推進のために
使われています。

お問合せ：

智頭町社会福祉協議会内

智頭町共同募金委員会

TEL：75-2326 担当：藤内・矢部

香典返し寄付金は、サロン活動等で地域の皆様に活用していただいています。

11		10							9				月
三〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	金一封	三〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	金一封	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	三〇、〇〇〇	（寄付額）（円）
芦津	東宇塚	三田	口波多	大背	大内	早瀬	智頭	芦津	三田	埴師	新見	早瀬	住所
寺谷 賢太郎	赤堀 伊都子	白間 重明	西村 剛	菅原 重治	酒本 幸江	小林 春枝	中田 利広	綾木 鋭一	下田 ひで子	和田 博雄	小林 英美子	寺坂 威八郎	故人のお名前
87	97	91	74	97	97	80	60	84	98	77	100	81	年齢
寺谷 幹也	赤堀 完治	白間 修	西村 光彦	菅原 和夫	酒本 浩	小林 敏郎	中田 勝利	綾木 利文	下田 浩二	和田 光正	小林 豊作	寺坂 順子	寄付者（芳名）

◎了解をいただいた方のみ掲載しております。敬称略

香典返し等寄付金ありがとうございました
(2023年9月～2023年11月まで)

ふれあいサロン紹介

Vol.74

•登録数 113グループ •登録者数 1,625人（12月1日現在）

ふくろう 不苦朗（智頭）

これからも健康に過ごすことを目的に毎週2回、火・金曜日に会員6名でウォーキングをしています。

名前の由来は、趣味で木彫りのふくろうを作る会員さんが、楽しく朗らかなふれあいサロンになるようにと「ふくろう」に当て字をして名付けました。

下町公民館に集合し、ウォーキング開始。途中の坂道や石段を登ったり、ゆっくり歩いたり、自分のペースでしっかり歩きます。

さわやかな青空とキンモクセイの香りで秋を感じながら、話にも花が咲きました。歩くことで「体力や筋力がついてきたのが分かる」と、嬉しい効果を実感しています。今後も、体調に合わせて無理のないように続けていきます。



不苦朗はお互いに気にかけてあい声をかけあうサロンです

不苦朗はお互いに気にかけてあい声をかけあうサロンです。今後も、体調に合わせて無理のないように続けていきます。

ふれあいサロンは一部赤い羽根共同募金の配分金で運営しています。

「久しぶりだなあ、どうしよーんさったあ？」 ひまわり会が全地区合同での開催に戻りました！



コロナの影響で智頭地区と智頭地区外の2日に分けて開催していたひまわり会が、4年ぶりに全地区合同での開催に戻りました。

レクリエーションや音読教室、声を出したり笑ったり今まで以上に賑やかです。

ひまわり会は、70歳以上のひとり暮らしの方を対象とした、月に一度の交流会です。

午前の自由時間はゲームや、おしゃべりなどを楽しみ、お昼はお弁当をいただきます。午後からは毎月違った内容の行事で交流しています。

みなさまのご参加、お待ちしております。



ボランティアさんが作る、お弁当も復活



楽しいから
参加してみて！

